

支援対象地区進捗状況一覧

2019/3/4 現在

No	地区名	都道府県 市区町村	担当 アドバイザー	取組主体	サポーター その他関係者	ワークショップ等 (キックオフ含む)	企画と進捗状況の概要	津波防災の日 イベントでの 主な報告内容案
30-1	ウトロ 地区	北海道 斜里町	鍵屋委員	ウトロ自 治会	・北見工業大学高橋教 授 ・防災科学技術研究所 ・中井佳絵氏(防災士) ・国交省北海道開発局 網走開発建設部 ・(株)ドーコン、(株)北未 来技研	① 7月2日キックオフ ② 8月31日勉強会 ③ 9月17日 ✓ 10月17日 ✓ 2月8日訓練 ✓ 3月20日地区防災連 絡協議会 ✓ 3月31日地区総会	キックオフ及び関係者打合せを 実施し、住民向け勉強会を開催。 住民向けアンケート調査結果を 踏まえ、2回のワークショップで 津波及び土砂災害の避難対策ア イディアを検討し、計画骨子を まとめた。冬季の検証訓練の結 果に基づき骨子を修正し、今年 度中に素案をまとめ、町へ説明 予定。	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界自然遺産知床ウトロ地 域における、外国人を含む 観光客の津波避難支援対策 ● 津波避難路の交通規制 ● 流水等を考慮した冬期の津 波避難対策
30-2	川崎区 扇町	神奈川県 川崎市	今村委員 磯打委員	扇町防災 協議会		① 3月15日協議会	川崎臨海部視察及び事前打合せ を実施し、地区防災協議会加盟 事業所向けに実施したアンケ ート調査結果を踏まえて、地区防 災ビジョン案(仮称)及び津波 防災対策チェックリスト案を協 議(扇町のみ)予定。	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本を代表する臨海工業地 帯(川崎臨海部)における 企業間連携の可能性 ● 堤外地としての津波防災対 策の検討
30-3	川崎区 水江町	神奈川県 川崎市	今村委員 磯打委員	水江町防 災協議会		なし		
30-4	岩原及び 沼田地区 ※1	神奈川県 南足柄市	樋口委員	岩原自治 会 沼田自治 会	(一社)南足柄みらい 創りカレッジ/富士ゼ ロックス株式会社復興 支援室	✓ 9月2日 ① 10月9日キックオフ ✓ 10月20日 ✓ 1月11日打合せ	まずは住民の防災意識向上のた め、防災ゲーム(ダイレクトロ ード海辺の町)を実施後、地区 の災害リスクを確認し課題を検 討するためDIGを実施した。関 係者にてキックオフ会議で進め 方を確認した後、年度末までに 今後のアクションプラン案を検 討予定。	<ul style="list-style-type: none"> ● テーマ:「岩原・沼田地区 での防災計画立案に向け て」 ● サブタイトル:津波等の災 害時の広域防災/減災実践 に向けた地区防災のあり方
30-5	土肥地区 ※2	静岡県 伊豆市	加藤委員	土肥地区 他3地区 土肥中小 学校、旅館 組合他2 団体	・静岡大学原田准教授 ・日本工営(株) ・国交省水管理・国土 保全局、中部地方整 備局 ・静岡県危機管理部、 交通基盤部	✓ 6月25日キックオフ ✓ 9月20日小土肥地区、 打合せ ✓ 10月12日八木沢地区 ✓ 10月28日訓練 ✓ 12月4日学校 ① 2月14日	土肥地区内の3地区および旅館 組合にて計画検討を進めて素案 をまとめ、2月7日の防災会議で 地域防災計画の改訂となった。2 月14日に先進地区を招いたワー クショップを開催し、各地区の計 画取組状況を共有した。	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光防災まちづくりの一環 としての、地域一体となっ た取組み ● 観光協会及び旅館組合の津 波に備える地区防災計画

30-6	文里地区★	和歌山県田辺市	吉川委員	文里町内会		<ul style="list-style-type: none"> ① 8月4日講演会 ✓ まちあるき(お一人避難訓練) ✓ 10月4日 ② 10月14・15日 ③ 1月20日訓練 ✓ 2月地区評議会 	<p>文里地区居住者及び地区内の公的施設利用者を対象に避難行動を考えるための、講演会、ワークショップを実施。1月20日には訓練、防災集会を実施。避難ルール案は住民の賛同をうけてッカー、看板作りに入った。現在、地区防災計画素案を作成中。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難開始までに数分の猶予もない！（災害リスクの共有） ● 自分が助かる範囲で要支援者を助ける！（要支援者支援のルール） ● 要支援者も避難をあきらめない！（要支援者避難のルール） ● 私を心配してくれる人のために、私は避難する！（避難の動機付け） ● 一時避難場所での孤立対策を考える！（一時避難場所の環境整備） ● 避難ルールを広く周知し、次世代に継承する！（避難ルールの普及）
30-7	宇品西地区★	広島県広島市	阪本委員	宇品西地区社会福祉協議会	広島市防災士ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 8月19日説明会 ① 9月22日 ② 10月15日 ✓ 12月11日検討会 ✓ 2月16日訓練講習 ✓ 3月9日訓練 	<p>関係者間で現状の避難に関する課題を共有し、ルール作りの必要性を認識した。ワークショップ、意見交換を踏まえ避難ビル候補を検討し訓練実施が合意された。訓練は参加を希望する1町会で実施し、その結果に基づき計画骨子をまとめる予定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 津波被害想定を考慮した、地区独自の津波避難計画の検討 ● 地区津波ハザードマップの策定
30-8	中島地区★	愛媛県松山市	磯打委員	中島地区自主防災連合会	愛媛大学二神研究室	<ul style="list-style-type: none"> ① 9月3日打合せ ✓ 9月8日訓練 ② 10月5日カルテに関する意見交換 ✓ 1月28日打合せ ✓ 3月13日総代会 	<p>9月8日に地区で予定されている訓練においてGPSを活用して避難行動にかかる時間を計測し、データを愛媛大学にて分析、世帯別避難カルテを作成した。カルテは地区に配布済。愛媛大学によるシミュレーションは、CDで全地区へ順次配布予定。地区防災計画素案に津波避難計画を追記し、3月の総代会で共有・承認予定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● シミュレーター分析を活用した島嶼地区での津波避難対策（高齢者等の避難行動を想定） ● 島内の高台は山間部となるため、地震による土砂災害も考慮した津波避難場所の選定 ● 津波対応避難所がない島嶼での津波避難対策

✓は地区が独自に行う活動。★は津波防災講座実施地区。